

あかげら



『秋のエゾオコジョ』 撮影者：臨床検査科 菅野 進一

名寄市立総合病院 広報誌



Nayoro City General Hospital

患者総合支援センター 編集

2026年
2月発行
第17号

【目次】

- 院長挨拶
- 看護部長挨拶
- 病院まつりを開催しました！
- 北海道自治体病院協議会連携部会



『令和8年の春に』

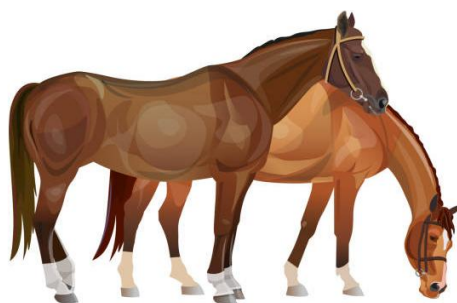
病院長 眞岸 克明



今上天皇がご即位され8年目になります。令和に入りまもなく、世界的な感染症に見舞われ社会が混乱している中で、国内では急速に進む高齢化と少子化、特に出産数の減少は予想を上回るスピードで進んでおります。陛下ご即位祝賀式を出張先のある病院のテレビで見ていたときには、その地の病院はまだ一般病床だけでしたが、その後を訪れたときには半数が介護医療院へと転換しておりました。

道北地域を見回すとどこも医療職員数が足りず、支える側がいなくなることで医療、介護を支えきれない状況になってきております。昨今、看護師不足のため入院休止や廃止と言った話が聞こえてきます。看護師・介護士の“急募”といった叫びも病院ホームページで見かけることが多くなりました。“病院”としては入院を維持できない、しかし地元では“入院需要”はまだある、でも濃厚な治療までは必要無い、そんな方を支える制度として介護医療院は少ない医療職で医療サービスを提供できる優れた制度です。道内に目を向けると、診療所に介護医療院を併設、また診療所を医療、介護、福祉の中心として介護施設や住宅の集約化を図っている自治体もあります。北海道内は医療過疎というこの分野では日本における“先進”地域であり、それぞれの自治体での取り組みは闊達で“先進”的ですので、私たちの地域も様々な事例を参考にしていきたいものです。

令和8年は午年。古来、馬は農耕や移動など人にとって重要なパートナーであり、躍進、飛躍、跳躍と言った勢いを感じさせる益獣であると共に、時に見せる穏やかな瞳やしぐさは人に安らぎや安心感を与えます。令和(=beautiful harmony)8年の午年に、皆様に健康への安心と安らぎを感じていただけるよう、当院では人との調和を大切に、時代を意識した医療提供に引き続き取り組みたいと思います。



『手の温もりが感じられる看護を』

看護部長 日下 玲子



上川北部圏域の高齢化率は全国平均を上回る数値となっており、人口の高齢化に反映し増えているのが、高齢者の救急搬送です。今後、高齢化や高齢者単独世帯の増加が進むにつれ、医療・介護・福祉などによる地域連携が益々重要となってきます。

昨年12月に看護部倫理研修が開催されました。あらためて看護部理念の共通理解と言葉が意味することについてふれ、「看護」「尊厳」について考え、「私たちは、何をやるひとなのか」を問う機会となりました。私が最近特に思うのが、医療・看護の場面において、効率性を高めるため、様々なシステムや機器が導入されていますが、これら機器類をうまく活用しながら、看護師でなければできない業務に専念し、患者さんが今まで何を考えて、何を大事にして生きてこられたのかということを大切に、患者さん・ご家族の気持ちに寄り添いながら、手の温もりが感じられるような温かみのある看護を提供したい。と思っています。

機器の数値だけではなく、しっかり患者さんに手をあて、そこから感じる患者さんからのメッセージを受け取ってほしいです。超高齢化社会は、これから私たちも向かっていく場所になります。自分の大切なひとの尊厳が守られ、自分らしく望まれる場所で最期まで過ごすことができるよう、その時々の人との繋がりを大切にしながら、今後もより良い看護が提供できるよう努めて参ります。



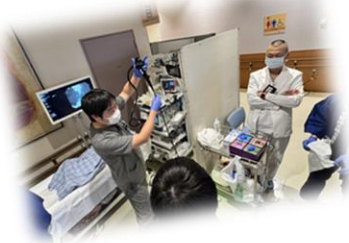
昨年12月に開催された
看護部倫理研修の様子

初めての病院まつりを開催しました！！

名寄市立総合病院 副院長（病院まつり実行委員長） 鈴木康秋



昨年11月9日（日）に、当院初の試みとして「病院まつり」を開催しました。初開催であり、対象を職員およびそのご家族に限定しましたが、多くの参加者にご来場いただき、終日活気にあふれた一日となりました。今回は、当院の医療をより身近に感じてもらうことを目的に、新館憩いの広場周辺をメイン会場として、体験型イベントを中心に企画しました。



内視鏡体験では、上部消化管内視鏡トレーニングモデルを用い、参加者が医師の指導のもとで実際に本物の内視鏡を操作して胃の中を観察しました。

エコー体験では、参加者が技師の指導のもとでフルーツゼリーにエコーをあてて、中に入っている果物をエコーで描出させて何かを当ててもらいました。さらに、希望者には技師や同伴の家族にエコーをして、肝臓や動いている心臓を描出する体験もおこないました。



お子様看護師体験では、子供の参加者を対象に、ナース服を試着し記念撮影、等身大・等重量のリアルな赤ちゃん人形の抱っこ体験、聴診器を使った看護師トレーニング用人形の心音聴取体験をおこないました。

正面入口前では、ナカジマ薬局さんの協力により、災害救援車を使用した**調剤体験**をおこないました。



さらに2つの院内探索ツアーを企画しました。



手術室コースでは、手術室看護科長のガイドにより
色々な手術室を見てまわり、最新のハイブリッド手術室では
レントゲン照射装置が手術台を中心に高速で回転稼働するところを見学しました。

ヘリポートコースでは、屋上ヘリポートに上がり、市内を360度眺望できました。

どちらも普段は立ち入れないエリアであり、
貴重な見学・体験ができたと思います。

そのほか、ナカジマ薬局さんの協力による**健康チェック**（インボディ®による筋肉量、脂肪量測定等）や
病院サポートクラブの協力による**子ども縁日**（スマートボール、型抜き、輪投げなど）、
キッチンカーの出店もあり、世代を超えて楽しめる内容となりました。



参加者からは「医療を楽しく学べた」、「家族に自分の仕事を誇りをもって説明できた」といった
声が寄せられ、職員にとっても自らの業務や病院の役割を再認識する良い機会となりました。
今回の経験を生かし、今後は内容の充実と安全面の検討を重ねながら、市民の皆さまにも開かれた
病院祭りの開催を目指していきたいと考えています。最後に各イベントのスタッフとして
参加してくれた病院職員、趣旨に賛同し協力してくれたナカジマ薬局と病院サポートクラブの方々には
厚くお礼申し上げます。

令和7年度

北海道自治体病院協議会連携部会 秋の研修会

令和7年10月17日（金）、18日（土）の2日間、北海道自治体病院協議会連携部会 秋の研修会が当院にて開催されました。

当日は、全道の加盟医療機関より連携業務に関わる多職種49名が参加。遠くは道南奥尻島からもご参加頂きました。

1日目は「医療介護連携について」を研修会のテーマとして、令和3年より本格運用を開始した名寄市医療介護連携ICT事業（ID-Link、Team）について、元名寄市地域包括支援センター 所長 橋本いづみ氏、居宅介護支援事業所さつき主任介護支援専門員 江口英樹氏、当院患者総合支援センター 平河係長からの講演と、グループワークを行いました。

2日目は、病院見学会を行い、当院の主要各所をご案内させて頂きました。

名寄で初めての研修会開催でしたが、名寄市の医療介護連携ICT事業に関心がある参加者も多く、研修会後には「非常に興味深い話だった」などの感想も多数頂き、有意義な情報提供が出来た研修会になったと感じています。

研修会開催にあたって、ご登壇頂いた橋本様、江口様にはご多忙の中、ご協力いただき深く感謝申し上げます。



病院の魅力発信します！～広報のとりにくみ～

当院では、今年度、広報活動の強化を図っています。
病院の雰囲気をもっと身近に感じ、病院の活動を広く知ってもらえるよう、ホームページやInstagramで、職員の笑顔や日々の取り組みを紹介し、名寄市立総合病院の魅力を発信していきます。

ホームページ
「病院のできごと」

令和7年6月開始！



患者からも職員からも
選ばれる病院に
なるための広報

☆掲載する内容☆
看護師・職員募集に関する情報
職場の雰囲気や研修・イベント風景
病院見学・セミナーなどの案内
先輩職員の紹介やメッセージ

Instagram

令和7年10月開始！



@NAYORO_HOSPITAL



広報活動に取り組んでみると、病院では多くの研修や活動があることにあらためて気づきました。これらを、多くの人に知ってもらいたい！自信と誇りをもって、病院の活動を紹介しています。ぜひ、ときどき覗いてみてください！（広報担当）



随時、さまざまな情報をお届けします♪

ホームページ

診療案内、採用情報、病院の取り組みなどの公式情報



公式LINE

LINEbotによる自動返信、お知らせのVOOM投稿



広報紙あかげら

診療紹介、地域連携に関する情報



Instagram

職員募集、雰囲気や研修・イベント紹介



(デジタル戦略室 広報担当)

診療体制一覽

循環器内科		(初診は予約外。予約希望の場合は連携室経由の紹介のみ。)				
		月	火	水	木	金
午前	第1診	井澤	出張医	豊嶋/出張医	井澤	久保
	第2診	藤保	酒井	久保	酒井	豊嶋

呼吸器内科		(完全予約制。紹介状または健診結果が必要。初診の予約は連携室経由のみ。)				
		月	火	水	木	金
午前	予約	石田	天満		森田	八木田/出張医
	予約済新患	天満			石田	八木田/出張医

○当日受診の院内紹介はDr. toDr. で相談をお願いします。

神経内科		(完全予約制。初診は紹介状が必要。)				
		月	火	水	木	金
午前				※出張医		
				※出張医		

※毎月第1、第3水曜日のみ

消化器内科		(初診の予約は連携室経由の紹介のみ。再診は予約制。)				
		月	火	水	木	金
午前	再診	鈴木	芹川	鈴木/寺澤	柳原/阪本	馬場
	初診	柳原	阪本	馬場 ※	芹川	寺澤
	予約外					

※第2水曜日は診療を行っていません。

糖尿病・代謝内科		(完全予約制。紹介状の方は連携室経由。)				
		月	火	水	木	金
午前		浅井	浅井		出張医	出張医

※初診の方は月・火曜日のみの診療です。

小児科		(1か月健診と予防接種は予約センター、専門外来は小児科外来で予約できます。)				
		月	火	水	木	金
午前	第1	平野	室野	室野	室野	平野
	第2	田上	七川	中村	平野	栗澤
午後	第1	栗澤	田上	堀井	七川	中村
	第2	田上	七川	中村	平野	栗澤
1カ月健診			白崎	中村		
アレルギー			白崎	平野		

外科		(初診・再診とも予約できます。)				
		月	火	水	木	金
午前	再診	竹林/大橋	手術	再診	竹林/桑谷	手術
	初診	桑谷		初診	大橋	
午後		手術	手術		手術	手術

○月曜日の初診・再診と水曜日の初診は、午前10時から診療します。

○水曜日の午後は原則予約のみです。

心臓血管外科		(初診・再診とも予約できます。)				
		月	火	水	木	金
午前		手術	和泉/眞岸	手術	眞岸	眞岸
			木村		村	村
午後		手術		手術		手術

整形外科		(初診・再診とも予約できます。)				
		月	火	水	木	金
午前	第1	小野	北村	小野	小野	北村
	第2	谷村				谷村
	第3	北村	猪川	猪川	谷村	猪川
午後		検診	手術	検査・総回診	手術	手術

特殊外来一覽

更年期外来、乳腺外来(乳がん検診)
小児心臓外来、小児神経発達外来、小児内分泌外来、アレルギー外来、

脳神経外科		(初診は予約できません。)				
		月	火	水	木	金
午前		出張医	出張医	出張医	出張医	出張医
午後		手術	検査	手術		検査

産婦人科		(初診・再診とも予約できます。)				
		月	火	水	木	金
午前	産科		野澤		林	佐藤
	婦人科	野澤	林	小野	佐藤	担当
午後	産科	※1健(野澤)	佐藤	※1健(関)	小野	野澤
	婦人科	林	関	小野	野澤	佐藤

※月・水曜日午後の産科は1カ月健診 ○第4金曜日午後：更年期外来

眼科		(完全予約制。)				
		月	火	水	木	金
午前	第1	南	南	南	南	南
	第2	横山	横山	横山	横山	横山
午後	第1	南	南	南	南	南
	第2	横山	横山	横山	横山	横山

※第2水曜日は1診になります。

耳鼻咽喉科		(初診・再診とも予約できます。)				
		月	火	水	木	金
午前		齋藤/野澤	齋藤/野澤	齋藤/野澤	齋藤/野澤	齋藤/野澤
		齋藤/野澤	齋藤/野澤	手術	齋藤/野澤	齋藤/野澤
午後						

泌尿器科		(完全予約制。)				
		月	火	水	木	金
午前	第1	山下	出張医	山下/出張医		山下
	第2	日下部	山下	日下部	検査/手術	日下部
午後	第1	透析室	透析	透析	透析	透析
	第2	透析室	透析	透析	透析	透析

○火・木曜日は原則他科受診はできません。

皮膚科		(初診・再診とも予約できます。)				
		月	火	水	木	金
午前	第1		出張医			
	第2	山本	山本	山本	山本	山本
	第3	香藤	香藤	香藤	香藤	※香藤/出張医
午後	第1		出張医			
	第2	手術	山本	手術	手術	山本
	第3		香藤			

心療内科・精神科		(初診・再診とも予約できます。)				
		月	火	水	木	金
午前	再診	野口/高崎/菅野	野口(第3火曜除く)	野口(第3水曜のみ)	野口	野口(第2金曜除く)
	初診	野口	高崎	高崎	野口	高崎(第4金曜除く)
午後	再診	野口	菅野	高崎	野口	野口(第2金曜除く)

○原則予約制です。

ペインクリニック外来		(完全予約制。初診は予約が必要。)				
		月	火	水	木	金
午前						
午後						館岡

総合内科		(予約はおこなっていません。)				
		月	火	水	木	金
午前		森田/林	森田/林	森田/林	森田/林	森田/林



名寄市立総合病院

〒096-8511 北海道名寄市西7条南8丁目1番地

<http://www.nayoroch.jp/>

代表連絡先

TEL : (01654) 3 - 3101 (代表)

FAX : (01654) 2 - 0567 (代表)

患者総合支援センター 直通FAX

FAX : (01654) 3 - 3107 (予約専用)

FAX : (01654) 9 - 2111 (退院支援)

